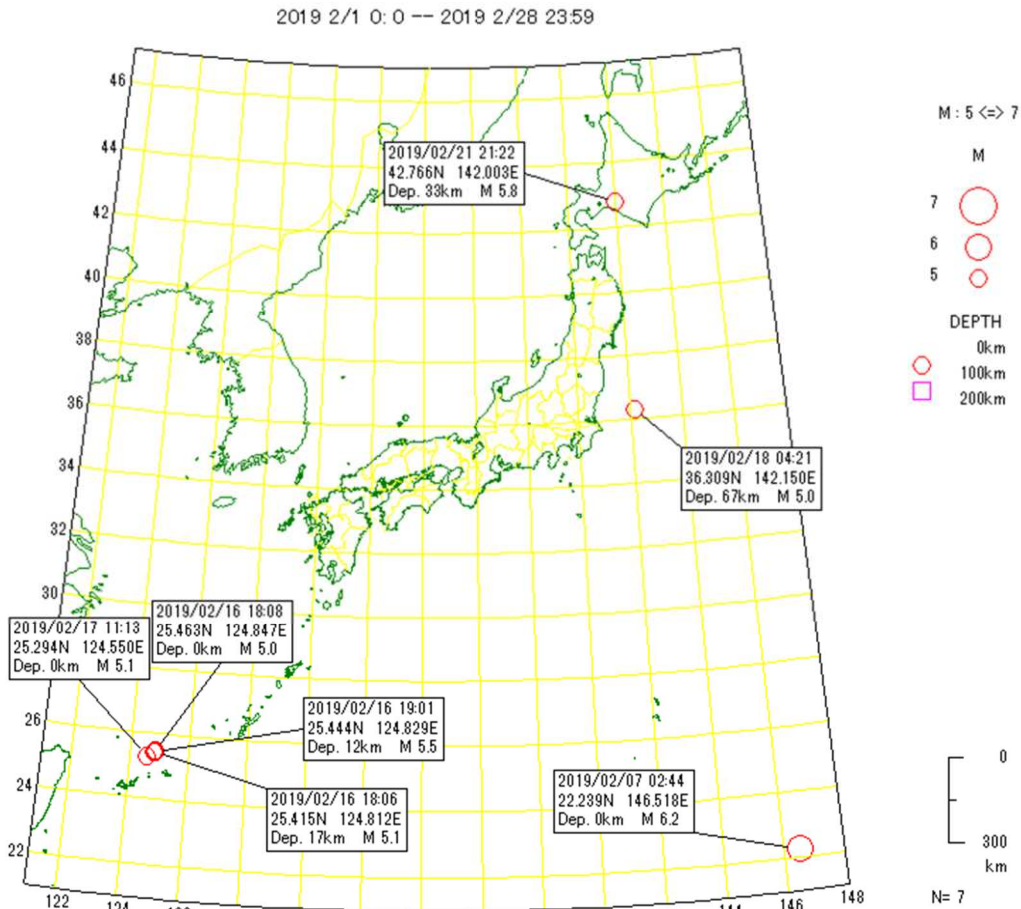


2019年2月の地震活動概観

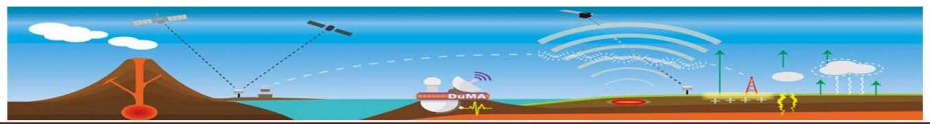
日本およびその周辺地域の2月の地震活動です。下の図は2月に発生したマグニチュード5以上の地震をすべて図示してあります。



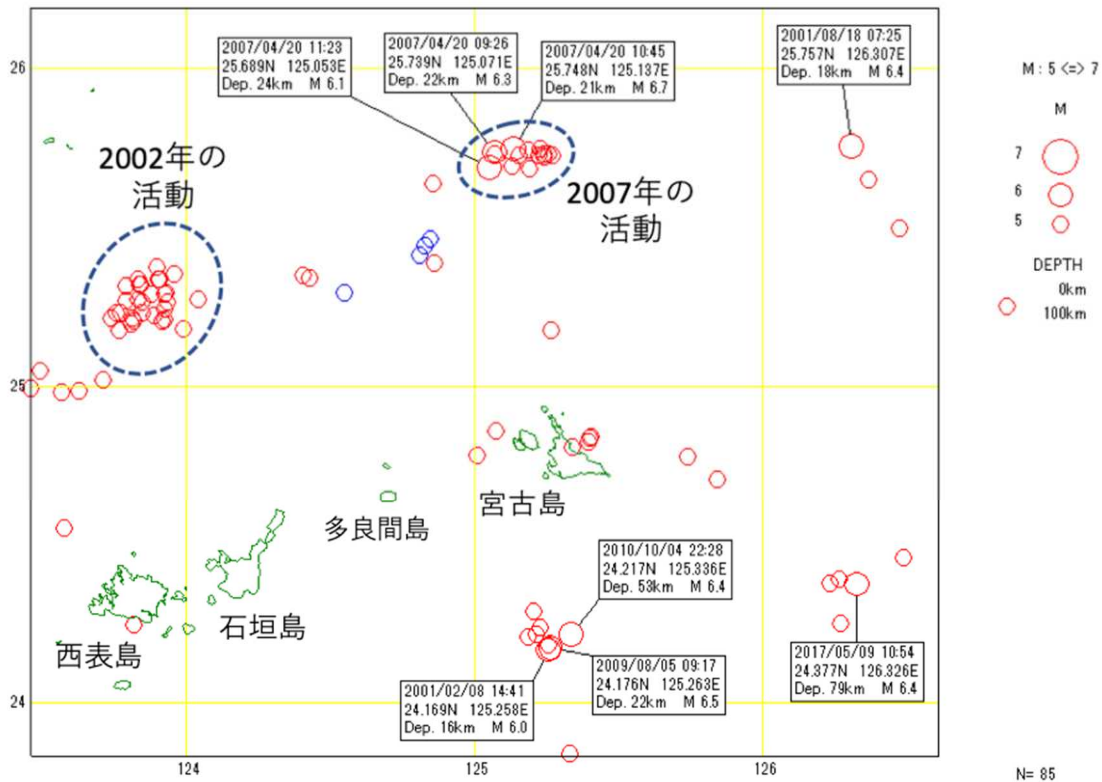
2月には全部で7個のマグニチュード5以上の地震が発生しましたが、そのうちの4個は南西諸島（宮古島、石垣島の北方海域）で2月16-17日にまとめて発生しました。

それでは、この海域での過去の地震活動を見てみたいと思います。

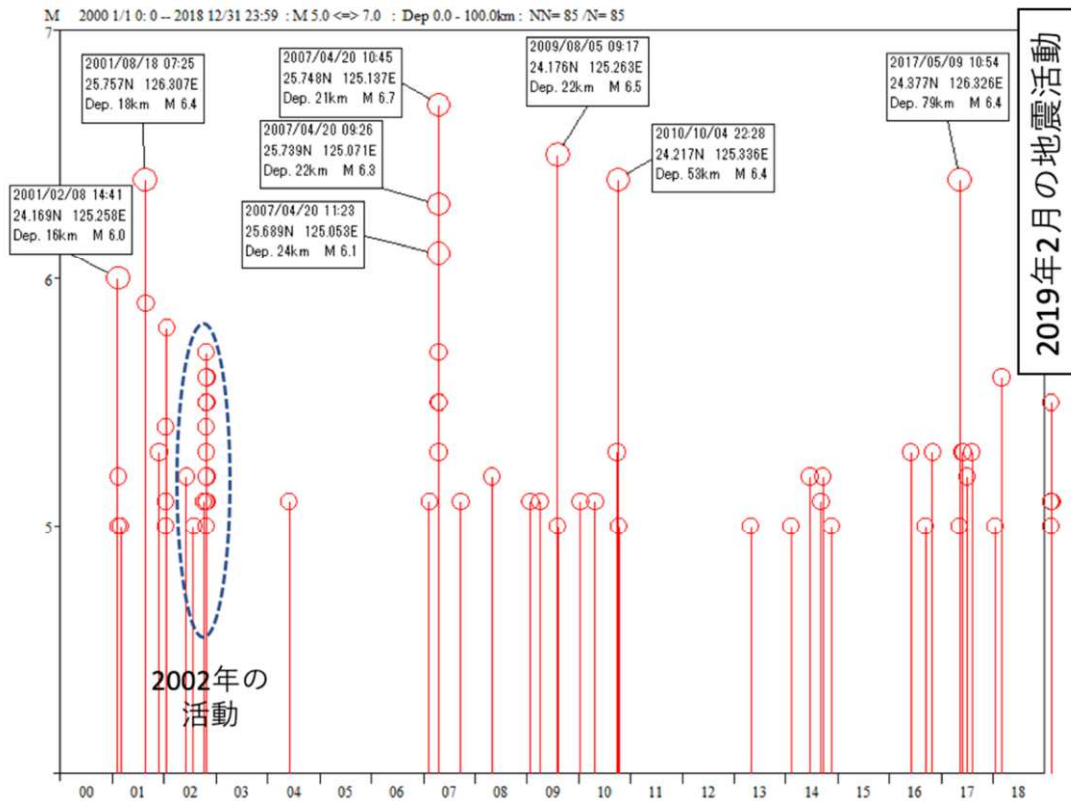
次のページにお示しする図は2000年から2019年2月末までの約19年間のマグニチュード5を超える地震をすべてプロットしてあります。地震の震央分布と、何時その地震が発生したかという時系列のグラフの2種類です。上の図の青丸が2019年2月に発生した4個の地震の発生位置を表します。詳しく見ますと、地震は宮古島、多良間島の北方で発生していた事がわかります。



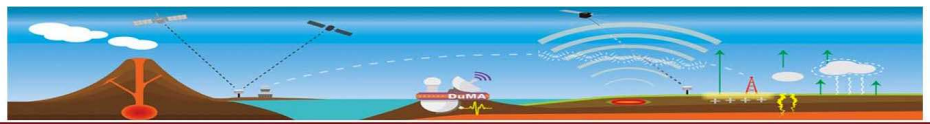
2000 1/1 0:0 -- 2018 12/31 23:59 2019 1/1 0:0 -- 2019 2/28 0:0



2000年から2019年2月までのマグニチュード5以上のすべての地震。全部で65個が発生。

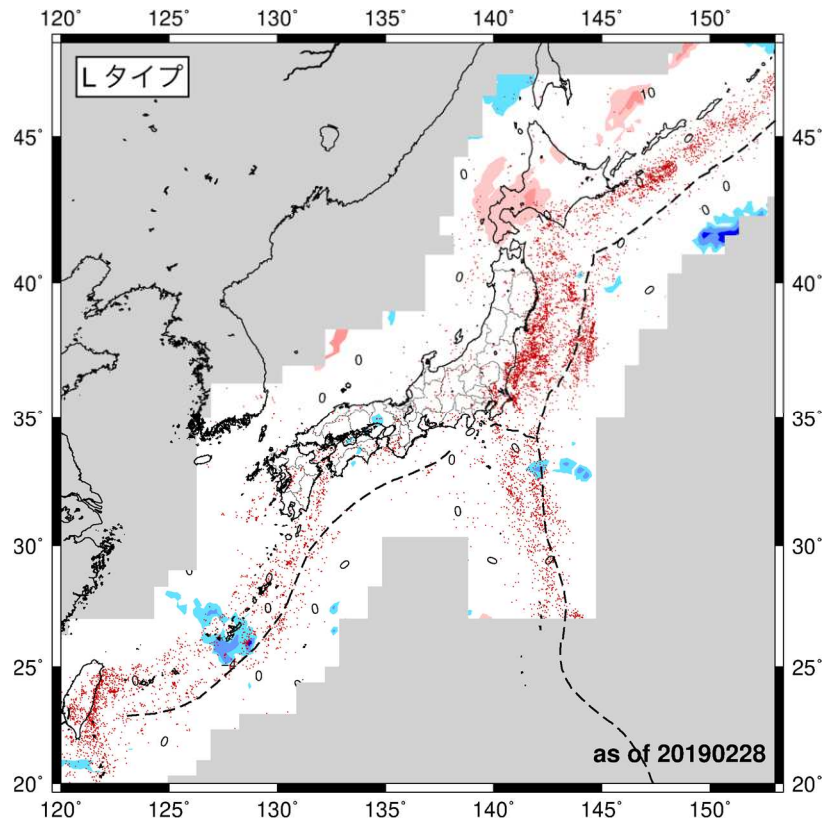


横軸を時間とした図。2002年や2007年にかなりまとまった地震活動があった事がわかる。



日本およびその周辺の広域地下天気図®

今週は1月28日のニュースレターに引き続き、現在の気象庁の観測網で解析できる最大範囲の領域の解析です。今週は2月28日時点のLタイプの地下天気図をお示しします。この地下天気図解析では、特に海域で発生するマグニチュード7以上の地震を対象としています。引き続き南西諸島に青い地震活動静穏化領域が広がっています。



下の図は昨年12月と9月の地下天気図です。継続的に南西諸島周辺に異常が続いている事が目を引きます。また岩手県沖の静穏化の異常が消えたのも注目すべき変化と考えます。

